

12月定例会のあらまし

平成25年第4回定例会は、11月29日から12月16日まで開催、報告17件、発議案4件、議案27件が提案されました。

一般質問には20名の議員が登壇し、市長等の考えを質しました。議案審議は「除草作業中の事故に係る損害賠償事件に関する専決処分報告について」や補正予算などを審議し、原案通り可決しました。

発議案4件のうち、「重要5品目の聖域すら守れないTPP交渉から撤退することを求める意見書」など3件の意見書を関係機関に送付しました。常任委員会に付託した請願4件のうち、「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書の採択を求める請願」、「市道八日町二本木線の一部拡幅についての請願」、「政府が米の需給と価格に責任を持つ米政策の確立を求める請願」は採択、「国保税の引き下げを求める請願」は不採択としました。

県や市内医療機関とも十分な調整を

12月定例会最終日、市立病院・診療所改革プランに関する発議案が提出され全会一致で可決しました。発議案には、「市民の不安を解消するよう急がずに丁寧な説明に努め、市民の声を反映した改革プランとすること」「県や市内医療機関など十分な調整を行い、市の役割分担や生活圏域の医療体制を総合的に見据えた改革プランとすること」の2項目を市長に要求しました。さらに改革プラン調査特別委員会は引き続き継続審査とすることを全会一致で承認しました。

〔11月19日〕 特別委員会質疑

質問 市民説明会が終わり、今日までどのような検討がされ、現段階でどのように考えているか。

答弁 説明不足の点はあったと感じている。超高齢化時代における地域医療の構築を進めていかなければという思いを強くした。診療所のベットのなくなることへの地域としての不安に対して、どう代替への対応をしていくかプランに盛り込んでいきたい。

質問 プランの決定は12月にするのか。プランが決定すれば、水沢病院の移転新築が決定するのか。

また、診療所の休床化は決定となるのか。

答弁 12月中に結論を出したいと努力を重ねている。水沢病院については、名称も場所も含めてゼロから考えていく。予算が伴うことから議会の承認がなければそれ以上進めない。まずは医師確保という観点からこの方針は決めさせていただく。

質問 今日の現状をとらえた時、まず医師が来ない。恒常的な多額の繰り入れをしなければなら

ない。民間でやれるものは民間でやってもらってもいいのではないか。先送りせずプランを進めるべきではないか。

答弁 12月を目途に、より良いプランとなるよう頑張つて結論を出したい。

質問 この地域で不足している脳外科、周産期、小児科などの医療体制の充実こそが求められている。水沢病院と診療所の休床化が天秤にかけられ

たように論じられていることが本来のプランのあり方ではない。そこを解消したいのであれば、このことを大前提として考えるべきではない。

答弁 決してありきではない。市の方向を示し、その上で県立病院との役割分担を決めていく。

〔11月29日〕 特別委員会質疑

質問 診療所の休床化は、患者サイド、市民サイドからは納得できない。シンポウムやフォーラムなど市民を交えた議論がもっと必要であり、市民理解を得たプランとすべきではないか。

答弁 市民の意見は無視するものではないが、どの部分をもって民意かという最終的取りまとめは、つらいところもあるが、責任ある立場の者が判断していくものであり、今後ともよりよいプランとなるよう努力していく。

質問 自宅で看られないのに入るところがないという市民が多くいる。理想は分かるが現実問題に対応するプランでなければならぬのではないか。

答弁 現実、現状に対応できない体制であるからこそ、変化に対応できる体制を作ろうとしている。

調査特別委員会 するよう 決議案可決